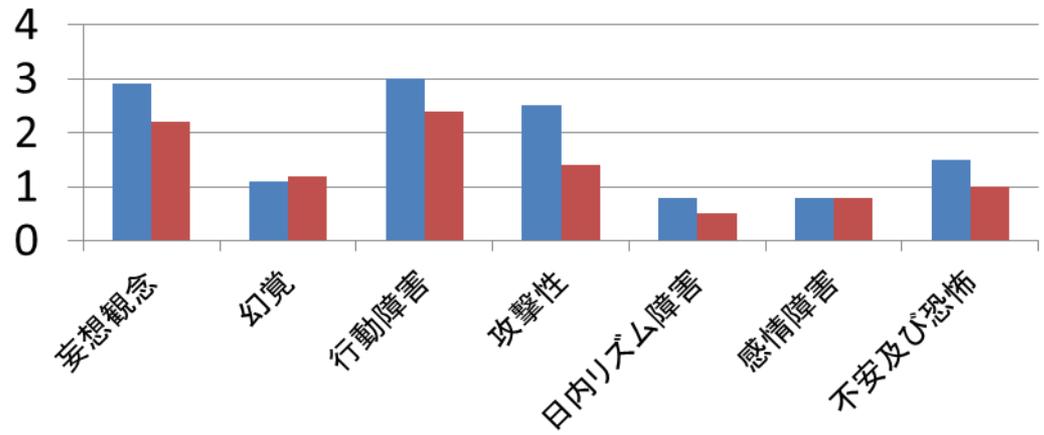


エビデンス①認知症高齢者の行動・心理症状の変化について



■ 実施前 ■ 実施後

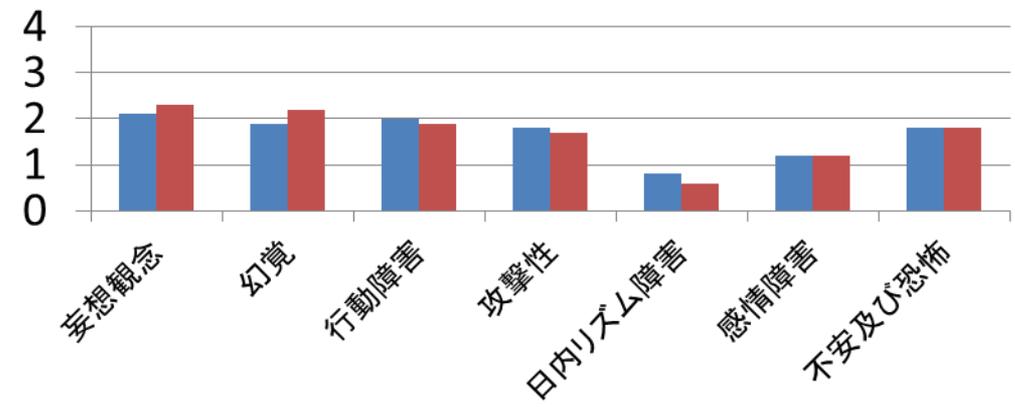


6週間ケアをしたグループ

※通常ケアは一切行わずにハンドコミュニケアのみ

- 認知症の行動、心理症状である妄想観念、行動障害、攻撃性、日内リズム障害、不安及び恐怖が改善された。
- 知的機能、感情機能が下がらず、維持することができた。(GBSスケール/老年期認知症行動評価尺度での測定結果)
- ストレスホルモンが減少した(唾液による検査)

■ 実施前 ■ 実施後



通常ケアを行ったグループ

※通常ケア：音楽療法、作業療法

- 認知症の行動、心理症状の項目で改善が見られたものもあるが、改善度合いは低い。
- 知的機能、感情機能が多少ながらも下がった(GBSスケール/老年期認知症行動評価尺度での測定結果)
- ストレスホルモンの変化はなかった(唾液による検査)